

# 宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

## 宮崎県第37週の発生動向

### トピックス

・**新型コロナウイルス感染症**(指定感染症)の報告が4例あった。第36週目までの届出は360例であり、届出総数は364例となった。

### 全数報告の感染症 (37週までに新たに届出のあったもの)

1類感染症：報告なし。2類感染症：報告なし。3類感染症：報告なし。  
4類感染症：日本紅斑熱1例。5類感染症：報告なし。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
4類	日本紅斑熱	宮崎市	70歳代	男	—	発熱、刺し口、発疹、DIC、肝機能異常

### 指定感染症 (37週までに新たに届出のあったもの)

疾患名	報告保健所	年齢群	性別	症状等
新型コロナウイルス感染症	宮崎市	10歳未満	女	発熱、全身倦怠感、嘔気・嘔吐
		20歳代	男	発熱、咳、全身倦怠感
		30歳代	男	発熱、咳、全身倦怠感
		90歳代	女	発熱、咳、全身倦怠感

### 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は260人(定点当たり7.2)で、前週比78%と減少した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で、減少した主な疾患は咽頭結膜熱、感染性胃腸炎及びヘルパンギーナであった。

#### ★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

##### 【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

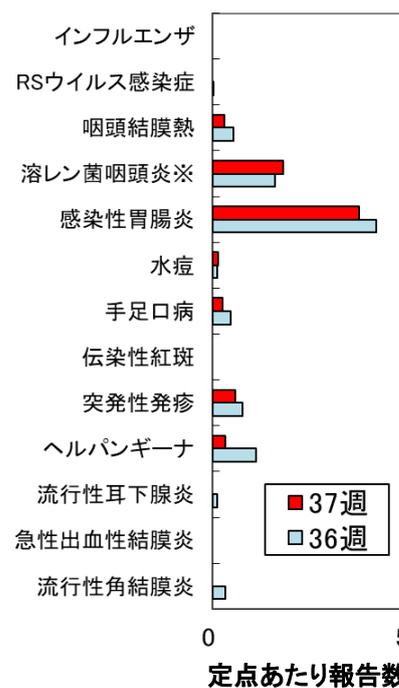
報告数は66人(1.8)で、前週比114%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値\*(1.4)の約1.3倍であった。日南(7.3)、延岡(3.3)、宮崎市(2.3)保健所からの報告が多く、年齢群別は別グラフに示す。

##### 【感染性胃腸炎】

報告数は136人(3.8)で、前週比89%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値\*(6.8)の約0.6倍であった。小林(9.0)、中央(6.0)、日向(5.5)保健所からの報告が多く、年齢群別は1歳~2歳が全体の約3割を占めた。

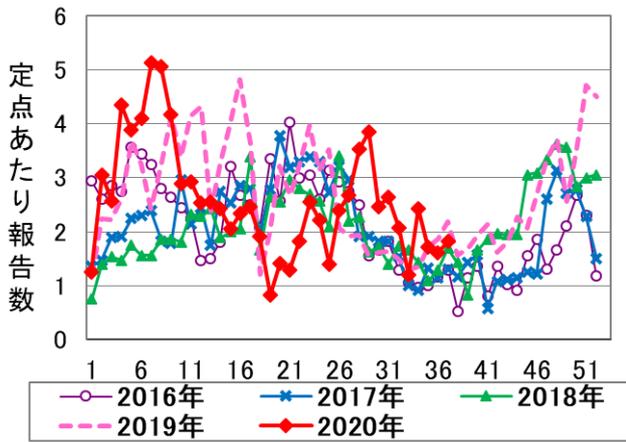
\* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

《前週との比較》

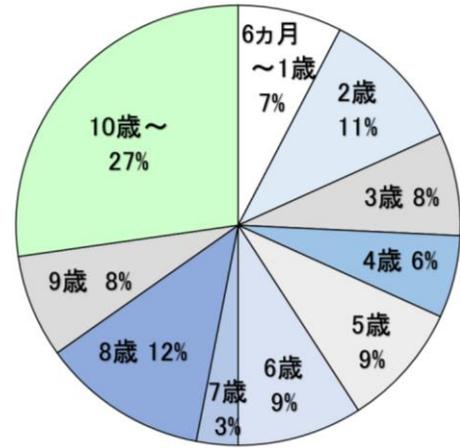


※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

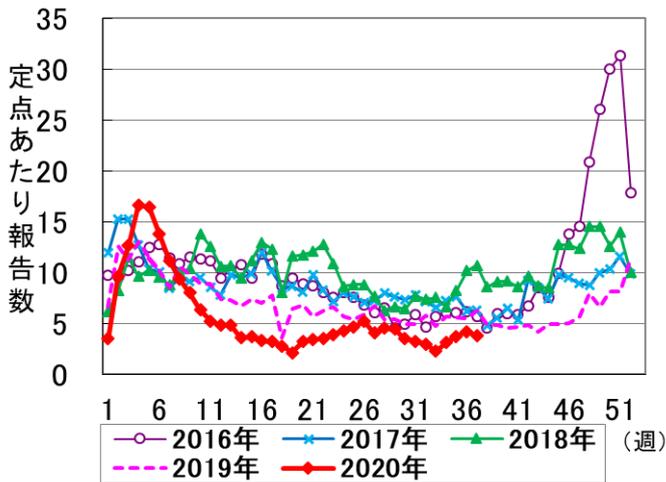
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 発生状況



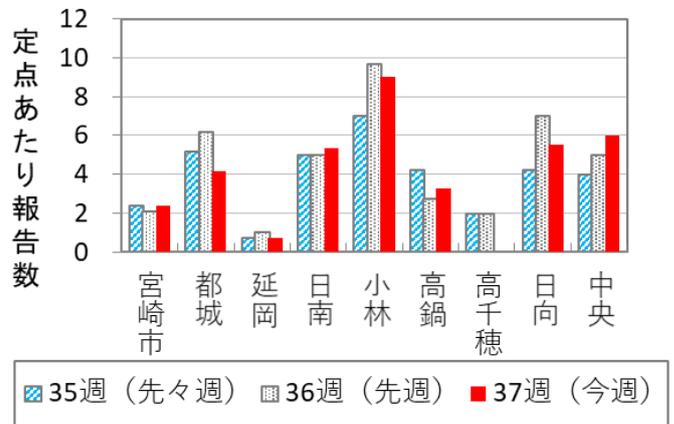
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 年齢群別割合



感染性胃腸炎 発生状況



感染性胃腸炎 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★ 報告なし。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	なし
日南	なし
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	水痘(1.0)

\*流行注意報レベル基準値\*  
・水痘(1.0)

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 令和2年9月14日までに検出）

★細菌

同定細菌名	年齢(歳)	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
EPEC(OUT:HUT)	5~9歳	男	2020.8.5	胃腸炎(水様性下痢)	便	2020.8.13
Salmonella Braenderup (O7:e,h:e,n,z15)	10歳代	女	2020.8.25	発熱(37.5℃)、 胃腸炎(水様性下痢、腹痛)	便	2020.9.2
Salmonella Oranienburg (O7:m,t:-)	5~9歳	女	2020.8.31	発熱(39.4℃)、頭痛、 胃腸炎(水様性下痢、腹痛)	便	2020.8.31

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
A型肝炎ウイルス (遺伝子型 I A)	60歳代	男	2020.08.11	急性A型肝炎、39.6℃、嘔気・嘔吐 黄疸、肝機能障害、肝炎	便	2020.09.02

🇯🇵 全国 2020 年第 36 週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第 36 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	258 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	89 例				
4類感染症	E型肝炎	6 例	A型肝炎	1 例	重症熱性血小板減少症候群	4 例
	日本紅斑熱	12 例	レジオネラ症	27 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	7 例	ウイルス性肝炎	2 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	29 例
	急性脳炎	4 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	11 例
	後天性免疫不全症候群	11 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	4 例	侵襲性髄膜炎菌感染症	1 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	7 例	水痘(入院例)	1 例	梅毒	67 例
	播種性クリプトコックス症	3 例	破傷風	3 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例
	百日咳	12 例	風しん	1 例		

※新型コロナウイルス感染症の全国の報告数について、現在、発生届の報告を新システム(新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システム(HER-SYS))へ移行中のため、移行が終了するまで掲載を控えさせていただきます。

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 104%とほぼ横ばいであった。なお、前週と比較して増加した主な疾患はRSウイルス感染症、咽頭結膜熱及びA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で、減少した主な疾患はヘルパンギーナであった。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は1,833人(0.6)で前週比112%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値\*(1.4)の約0.4倍であった。福岡県(1.9)、鳥取県(1.7)、宮崎県、岩手県(1.6)からの報告が多く、年齢群別では3歳から6歳が全体の約半数を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は6,148人(1.9)で前週比107%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値\*(3.5)の約0.6倍であった。宮崎県(4.2)、大分県(3.8)、香川県(3.4)からの報告が多く、年齢群別では1歳から2歳が全体の約2割を占めた。

\* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

## 月報告対象疾患の発生動向 <2020年8月>

### □性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は38人(2.9)で、前月比76%と減少した。また、昨年8月(2.7)の109%であった。

《疾患別》

○性器クラミジア感染症：報告数20人(1.5)で、前月の0.8倍、昨年8月の約1.1倍であった。

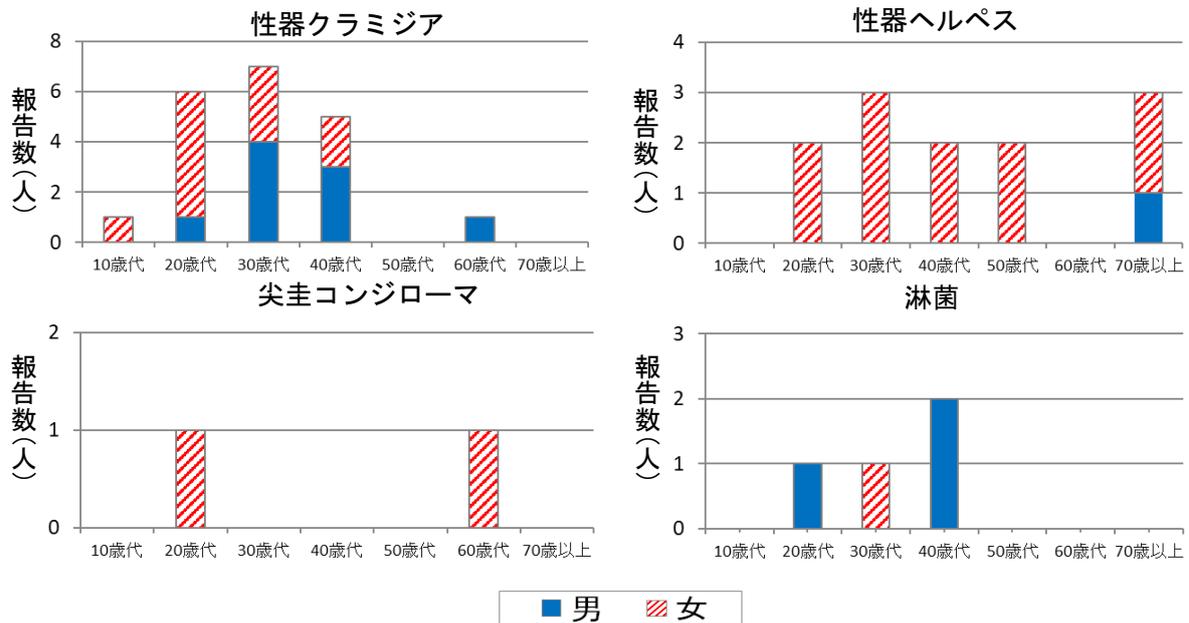
30歳代が全体の約4割を占めた。(男性9人・女性11人)

○性器ヘルペスウイルス感染症：報告数12人(0.9)で、前月の約0.9倍、昨年8月の1.5倍であった。  
(男性1人・女性11人)

○尖圭コンジローマ：報告数2人(0.15)で、前月の2.0倍、昨年8月の0.5倍であった。(女性2人)

○淋菌感染症：報告数4人(0.31)で前月の約0.4倍、昨年8月の0.8倍であった。

(男性3人、女性1人)



【全国】 定点医療機関総数：982

定点医療機関からの報告総数は4,448人(4.5)で、前月比100%と横ばいであった。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,445人(2.5)で前月比100%、性器ヘルペスウイルス感染症780人(0.79)で前月比104%、尖圭コンジローマ464人(0.47)で前月比98%、淋菌感染症759人(0.77)で前月比98%であった。

### □薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は20人(2.9)で、前月比91%と減少した。また、昨年8月(3.9)の74%であった。

《疾患別》

○メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数20人(2.9)で、前月の約0.9倍、昨年8月の約0.7倍であった。70歳以上が全体の約8割を占めた。

○ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。

○薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

【全国】 定点医療機関総数：479

定点医療機関からの報告総数は1,260人(2.6)で、前月比94%と減少した。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,213人(2.5)で前月比96%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症38人(0.08)で前月比62%、薬剤耐性緑膿菌感染症9人(0.02)で前月比100%であった。

## 宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2020年 第37週(09月07日～09月13日)

疾病名		第36週	第37週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	1										
	定点当り	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	19	11	7	3		1					
	定点当り	0.53	0.31	0.70	0.50	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	58	66	23	3	13	22		3		1	1
	定点当り	1.61	1.83	2.30	0.50	3.25	7.33	0.00	0.75	0.00	0.25	1.00
感染性胃腸炎	報告数	152	136	24	25	3	16	27	13		22	6
	定点当り	4.22	3.78	2.40	4.17	0.75	5.33	9.00	3.25	0.00	5.50	6.00
水痘	報告数	4	5	1			1	1			1	1
	定点当り	0.11	0.14	0.10	0.00	0.00	0.33	0.33	0.00	0.00	0.25	1.00
手足口病	報告数	17	9		7		1				1	
	定点当り	0.47	0.25	0.00	1.17	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
伝染性紅斑	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	28	21	6	3	3	1	3	3		2	
	定点当り	0.78	0.58	0.60	0.50	0.75	0.33	1.00	0.75	0.00	0.50	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	40	12	2	3	2	1	4				
	定点当り	1.11	0.33	0.20	0.50	0.50	0.33	1.33	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	4										
	定点当り	0.11	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	2										
	定点当り	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

## ●全数把握対象疾患累積報告数(2020年第1週～37週)

2類感染症	結核	117例		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	17例		
4類感染症	E型肝炎	1例	A型肝炎	5例
	つつが虫病	7例	日本紅斑熱	5例(1)
5類感染症	アメーバ赤痢	5例	ウイルス性肝炎	1例
	急性脳炎	1例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2例
	後天性免疫不全症候群	4例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2例
	水痘(入院例)	6例	梅毒	14例
	破傷風	4例	百日咳	37例
指定感染症	新型コロナウイルス感染症	364例(4)	重症熱性血小板減少症候群	3例
			レジオネラ症	6例
			カルバペネム耐性腸内細菌感染症	1例
			劇症型溶血性レンサ球菌感染症	6例
			侵襲性肺炎球菌感染症	9例
			播種性クリプトコックス症	2例
			薬剤耐性アシネトバクター感染症	1例

( )内は今週届出分、再掲